



グリーンポトスニュース

46号：2001年6月

暑い日が続き、夏の足音が聞こえるようです。6月5日にて、かめざわクリニックは、おかげ様で5周年を迎えます。今後も、ペインクリニックを中心に、予防接種、健康診断など、地域医療に励んでいく所存です。そこで、今月の話題は『地域医療』です。

地域医療

早いもので、かめざわクリニックも開業5周年を迎えました。これも皆様のお陰と感謝しております。かめざわクリニックは全国的にも数が少ないペインクリニックを中心に平成8年6月5日に開業し、痛み中心の診療をしてきました。ペインクリニックは、神経ブロック療法を主な治療法とするため、極めて専門的であるため、開業当初より、春日井市内はもちろん、名古屋市、一宮市など尾張地区、多治見市、瑞浪市、恵那市などの岐阜県からも患者さんが数多く来院されました。

痛みの原因は数え切れないほど存在します。肩凝り、腰痛など、筋肉性によるものから、頭痛などストレス性のものまであります。そのほかにも、高血圧による頭痛や体調の不良、胃潰瘍等による腹痛など、内臓疾患によるものもあります。後者の場合、神経ブロックでは治らないため、服薬などの内科的な治療が必要となってきます。

現代医学では、大学病院を頂点に、各科を細分化して、専門化しています。しかし、一人の人間を診る場合、細かく分けるだけでなく、全般的に診る必要もあります。それが、我々の目指す地域医療ではないかと思えます。専門的な医療と全体を診る医療が必要なのです。そのため、かめざわクリニックでは、春日井市民病院と病診連携を図ることにより、各種の高度医療機器を利用しつつ、皆様の健康を守っております。



これからも、ペインクリニックという専門分野を生かしつつ、全般的な医療も行い、地域医療の一部を担っていきたいと考えております。これからもかめざわクリニックをよろしく御願致します。